

＼日光湯元ビジターセンターオリジナル／

新商品のお知らせ

実は近年、日光湯元ビジターセンターではオリジナル商品の開発に力を入れています。
当館にお越しの際はぜひ、旅の思い出、お土産として、よろしければお買い求めください！



¥400 (1枚)

ステッカー (戦場ヶ原・男体山)

防水加工されているので、車に貼っても OK！
いずれは白根山バージョンも作りたい…。種類が増えるかどうかはお客様の反応と売れ行き次第です！よろしくお願いします(笑)。

手づくり 木製マグネット

スタッフ手作りのマグネット。樹種がさまざまなので、ひとつひとつ風合いが異なります。木のあたたかみを感じてください。実は結構売れている、隠れ人気商品！？

¥300 (4個入)



手づくり 鹿革細工グッズ

以前から販売していた鹿革グッズをリニューアル！ストラップが2種類になりました。革細工づくりを体験できるイベントも不定期で実施していますので、そちらもぜひ！

¥850



定期購読のご案内

発行日にご自宅まで本誌をお届けします。

「楓通信」購読料 **1,000 円**

2024 年 3 月号 (No.156) ～2025 年 12 月号 (No.163)

【発行】自然公園財団 日光支部

※本誌は無料。送料、手数料として頂きます。

[申し込み方法]

ビジターセンターで申込書にご記入いただくか、下記まで氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

＼アドレスが変わりました／

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

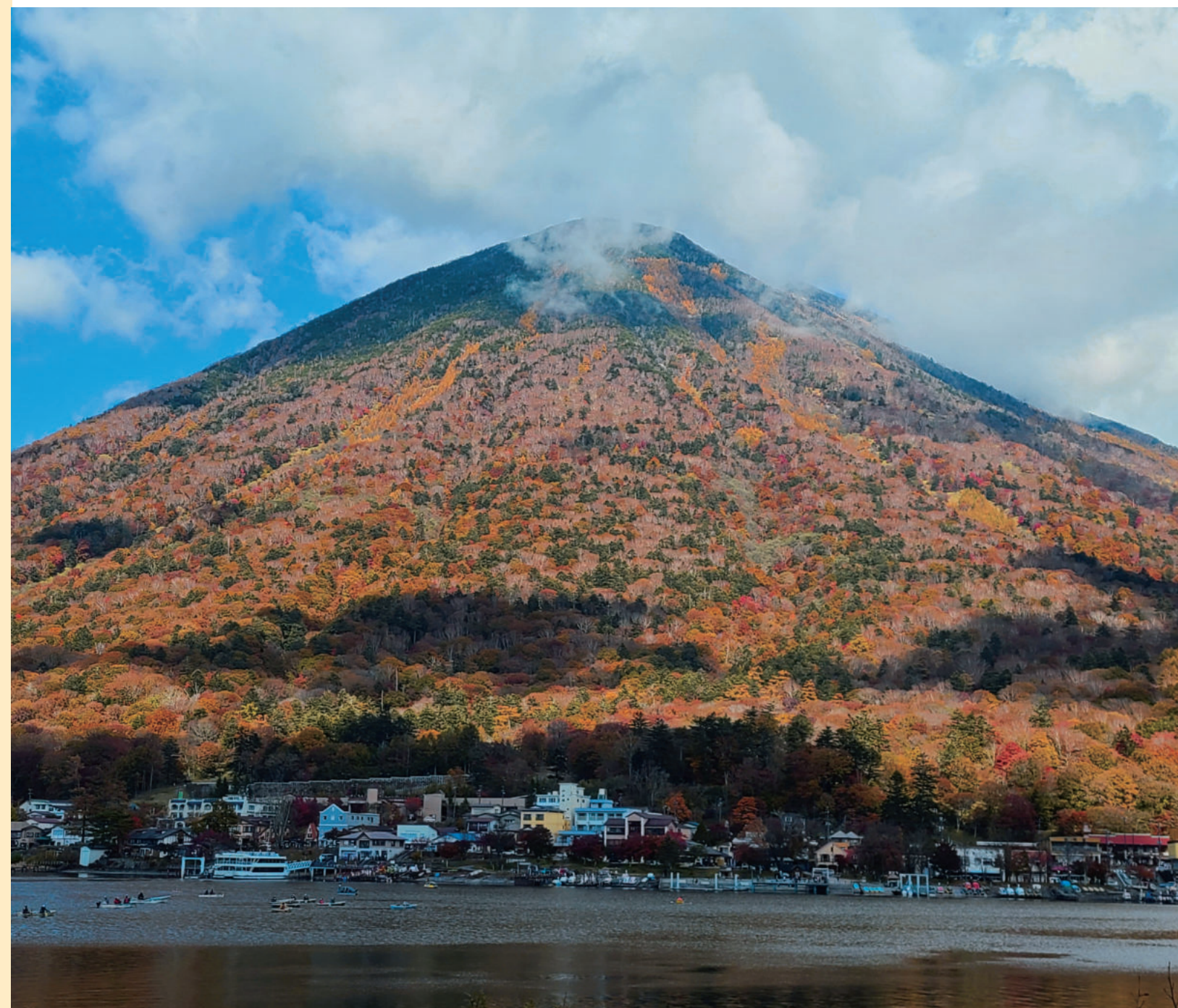
2024 年 9 月初旬発行 [次号 2024 年 12 月初旬発行予定]

奥日光の自然情報誌

楓通信

2024 年 No.158

9-11 月号



男体山の紅葉

今号の特集

< 特集 1 > 奥日光「紅葉の始まり」早さランキング

< 特集 2 > ビジターセンター所長が語る！「クマを正しく怖がろう」

！ずっと使える、奥日光の紅葉攻略アドバンス！

紅葉の始まり 早さランキング

場所ごとに、紅葉の見頃の時期が異なる奥日光。今回はランキング形式で、紅葉の始まりが早い順にまとめました。

★★★
第2位

竜頭ノ滝・湯ノ湖

10月上旬～10月下旬



◀ 竜頭ノ滝上

ビジターセンター HP では「奥日光の紅葉情報」の情報を掲載しています！



湯ノ湖

竜頭ノ滝の滝上の紅葉が最も早いです。滝上が見頃になると、滝の正面（お茶屋さんのところ）も紅葉し始めます。滝の正面と、湯ノ湖の見頃が同じくらいの時期だと思っていただいても良いと思います。「標高差があるのに同じ時期に見頃になるの？」と不思議ですが、戦場ヶ原の冷気が流れ込むからか、竜頭ノ滝の方が紅葉が早いのです。簡単には見頃の時期を予測できないところも、自然の面白さですね。

小田代原



第1位

毎年、早朝から
写真好きの方々が撮影に集まる
奥日光を代表する
人気紅葉スポット！



戦場ヶ原

★★★
第3位

中禅寺湖

10月中旬～下旬



竜頭ノ滝が見頃のピークを過ぎ始めたころ、中禅寺湖も徐々に色づきが進みます。お土産屋さんも多く連なるこのエリアは、買い物やお散歩ついでに紅葉を楽しめるのが魅力。

近年は、11月上旬まで見頃が続くことが多いため、雪化粧し始めの山々とのコラボレーションも楽しめるかも！？（画像参照）

また、アウトドア派の方は、SUP やカヤックなど、アクティビティを楽しみながらの一風変わった紅葉鑑賞もできちゃいます！

戦場ヶ原・小田代原

9月下旬～10月中旬

「奥日光で一番標高が高い（気温が低い）のは湯ノ湖なのになぜ？」と思うでしょう。理由は定かではありませんが、湿原の周辺に風を遮るものがないため、他の場所よりも気温が低く、紅葉が早いのではないかと考えられます。

戦場ヶ原と小田代原は、湿原の小さな草が色づく「草紅葉」から始まります。次いで、周囲のカラマツやミズナラ林の黄葉へと続きます。奥日光の紅葉のスタートを切りながらも、秋の雰囲気長く楽しめるエリアです。

注意点は、同じ草紅葉でも小田代原と戦場ヶ原とで様相が全く異なること。小田代原は赤い草紅葉、戦場ヶ原は黄金色になります。認識がごちゃごちゃになってしまっている方がまれにいらっしゃるの、ご注意ください。

問い合わせの際も、草紅葉が見たいのか、周辺の山々の色づきが見たいのかを明確にいただけると、私たち職員もお答えしやすいです。

★★★
第4位

いろは坂

10月下旬～11月中旬



実は、意外と問い合わせが多い紅葉スポットがいろは坂。紅葉の時期は周辺の山々が赤く色づき、ヘアピンカーブの恐怖が和らぎます（?）。とくに下りの道中で、木々の隙間から見える景色に見とれて、多くのドライバーが減速して走行します。ただし、この時期とくに事故が多いのも事実。景色に見とれて前の車やガードレールにドカン、とならないよう、くれぐれもご注意ください…。

千手ヶ浜にて（2022 年撮影）



以前、本誌の一五〇号でも「奥日光のクマのこと」を特集しました。今年はマスコミの偏向報道も影響し、お客様の不安をいたずらに掻き立てる状況となり、私たちビクターセンター職員もたいへん心を痛めております。そこで、今年のクマ出没の傾向について振り返りながら、季節ごとのクマの生態等、正しく理解していただき、奥日光の自然を楽しむ一助となるよう、本企画を執筆しました。

日本では、北海道にはヒグマ、本州と四国では黒い体に首下の白い三日月状の模様が目立つツキノワグマが、生息しています。

ツキノワグマは雑食性の動物で、春はフキやタケノコといった山菜から、ブナやホオノキ等の植物の新芽、柔らかい葉を食べます。夏はサクラの果実、アリなどの昆虫、秋はドングリなど木の実を中心に、ヤマブドウ等の果実も食べ、その後の冬眠に備えて栄養を蓄えます。また、ときにはシカの死体なども食べます。

*

春、早い場合は三月には冬眠から覚めて活動を始めるクマもいます。この頃は主に、山菜の新芽や落ち葉の下でのドングリなどを食べています。メスは冬眠中に出産するので、子グマがある程度育つのを待って、冬眠穴を出ます。
夏、六月から八月は、植物の葉は固くなって食べられなくなります。そのため、クマはサクラやノイチゴ等の熟した実、倒木や岩の下にいるアリを食べます。この時期は、一度に大量に食べられる餌が無く、クマはずっとお腹を空かせた状態です。つまり夏は、年間で最も餌が少ない「過酷な季節」なのです。日中も、餌を探して移動する個体がいるほどです。同時に、奥日光に訪れる人も増えるので、必然的に目撃情報も多くなるというわけです。

秋、九月になると奥日光では、高カロリーなミズナラのドングリを求めて、クマたちは木に登り始めます。そのため、クマの姿を見つけないくなり、目撃情報も減ります。夏は一日五〇〇キロカロリーほどしか摂取できなかったクマたちは、秋には五〇〇キロカロリー以上も餌を食べ脂肪を蓄えます。山々が雪に閉ざされる頃、樹洞や岩穴でクマたちは冬眠に入ります。

クマは一歳半ほどで母親と分かれ、独り立ちします。そのため初夏は、体長一メートル前後の若い個体の目撃が増えます。餌探しに夢中で人を怖がらないことがあります。幼さゆえにまだ人間の怖さを知らないためだと言われています。

六月から七月は、ヤマザクラ等のサクランボがクマの重要な餌となります。特に今年、奥日光ではオヤマザクラの実が豊作でしたので、連日のように中禅寺湖畔の学校やホテルで、桜の木に登って実を食べるクマが目撃されました。クマにとって桜の木は、いわば食堂です。このとき撮影された映像がニュースで流されたため、お客様から「奥日光に行っても大丈夫か」と、毎日数十件のお問い合わせをいただく事態になりました。

しかし、目撃されたクマは全て同一個体であることが分かっています。かつて、都内の某大学が研究のために捕獲し、耳にタグを付け放獣した個体です。



▲葉っぱをくわえたクマ（2024 年撮影・湯滝）

日中、目立つ場所にクマが危険を冒しても実を食べにくるのは、前述のような人との距離感を巧妙に使い分ける個体の存在も関係していると思われます。とはいえ、クマ食堂のメニューは季節限定です。サクラの木に登るクマの目撃情報は、実が食べ尽くされると、いつも通り沈静化しました。

みなさまへ

生態系の頂点に位置するクマは、奥日光の豊かな自然を象徴する動物です。クマの習性や生態をご理解いただいたうえで、奥日光の自然を満喫していただければ幸いです。

文責・桑名（所長）

ビビターセンターイベント

～ひとりでは勇気がいる！？ルートへ～ ゆせんがたけ 温泉ヶ岳と金精峠

10月5日（土）
10:30-16:00

健脚向け

対象：現地に集合できる**中学生以上**の方
集合場所：金精山登山口駐車場（関越交通バス）

金精峠から菅沼へ抜けるルートをご存じですか？
暗くて怖そうな道ですが、実は静かで落ち着いた
穴場ルートなのです！峠から先は下りで斜度はさ
ほどありませんが、アスレチック感のある道なの
でお楽しみに！温泉ヶ岳からの景色も良いですよ
【ルート】金精山登山口 P→金精峠→温泉ヶ
岳→金精峠→菅沼※**駐車場が混雑するため湯
元温泉発、鎌田行きのバスでお越しください**

参加費 4,000 円



定員 10 名

じゃっこうのたき 全山綾錦！「寂光滝」の源流へ行こう！

10月26日（土）
9:00-15:00

健脚向け

対象：現地に集合できる**小学5年生以上**の方
集合場所：寂光神社前駐車場（無料）

沢沿いの道なき道を進む、険しいながらも気持ち
の良い、マイナスイオンたっぷりのコース。ゴー
ルでは、なんともありがた～いサプライズが！？
「こんなところにこんな場所が！？」が盛りだく
さん。さらにこの時季は、紅葉もバッチリ見頃の
ハズ！想像を超える美しい景観が待っています！
【ルート】寂光神社前 P→寂光滝→芦沢沿い
→秘スポット→女峰山登山道→寂光神社前 P

参加費 4,000 円



定員 10 名

山伏修行の地へ探検！ おおいたわ ～大多和宿の神秘をさぐる～

11月2日（土）
9:00-15:30

男体山麓に眠る、かつて山伏が修行のために訪れた
場所へ行ってみよう！道なき道を歩き、藪の中をガ
サガサ進み…そこまでハードではないながらも、冒
険感たっぷりです。藪エリアでは地図読み体験もア
リ！知らないエリアを歩いてみたい人はぜひ！
【ルート】梵字飯場跡 P→大多和宿→志津宿→
梵字飯場跡 P ※**特別許可を得て実施**

参加費 4,000 円



定員 10 名

対象：現地に集合できる**小学5年生以上**の方
集合場所：梵字飯場跡駐車場（無料）

奥日光は天然プラネタリウム！ ゼロから始める星空観察

11月2日（土）
19:30-20:30

標高が高く空気が澄んだ奥日光は、まさに天然のプ
ラネタリウム！星に詳しいスタッフが、星空の見方
を丁寧にお教えします。少し見方が分かると、夜空
を見るのが一気になりますよ！「星ってこんな
にあったの！？」と、きっと驚くはず。

【開催場所】湯元温泉街周辺 ※**雨天時はビジ
ターセンターでスライドレクチャーを行います**

参加費 500 円



定員 20 名

対象：現地に集合できる方
集合場所：日光湯元ビジターセンター

お申込み先（自然公園財団日光支部）

＼アドレスが変わりました！／
✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

お申込みの際、下記をお知らせください。

- ①氏名②令和3年～5年実施イベントの参加有無
- ③性別④年齢⑤住所（郵便番号含む）⑥電話番号
- ⑦当日の交通手段